

令和 4 年 1 月 6 日

松阪市議会議長 堀端脩様

松阪市議会議員
小川朋子

広報研修会~ Y o u T u b e r から学ぶ動画作成のコツ~に参加しました のでご報告します。

日時：令和 3 年 12 月 23 日 14 時 30 分～

講師：TOLAND VLOG

- ・チャンネル登録者数 13 万人 ・YouTube 毎週 2 本投稿（金曜日・土曜日）
- ・LIVE 配信月 2 ・ 3 本 ・LIN E 公式アカウント(1800 人)
- ・Google フォーム

【研修内容】

◎YouTube の特徴

- ・利用率→40 代以下は 90%
- ・視聴回数アップ→サムネイル・タイトル・動画時間
- ・飽きさせない→SE、BGM 、テロップ

◎松阪市のチャンネル改善点

- ・タイトルやサムネイルからどのような内容の動画なのか読み取れない
- ・一般人からするとよく分からない言葉が羅列している
- ・内容が表面的で、色々な話題が入りすぎている

★これらの改善点を今後どうしていくかを考える

・ターゲット層

若い世代（みてんかを読まない世代）、市外・県内外、

・市議会として出したい情報

みてんかの紙面をわかりやすい言葉で発信
（テロップや用語説明をいれる）

議会が取り組んだ市政改革

他市に負けない松阪市独自の政策

・視聴者がどういう求めている情報

わかりやすい言葉を使つての情報発信
議会の仕組みや内部の様子
直接生活に関わつて来る身近な情報

【所感】

松阪市の YouTube はチャンネル登録者数が極めて少ない。まずは、登録者数を増やす努力をしなくてはならない。

ターゲット層を若い世代にしてみるのもおもしろいかもしれない。

会派室での様子や、議長の日など市政だけにとらわれず、日頃の様子を持ち回りで動画を撮り配信していく。その中に議会報告などを一つずつ短時間で上げていく方法をとるのが有効的だと思われる。

通常の投稿でのサムネイルは統一性をもたせる。しかし、市政報告は一目で区別できるようにメリハリも大事になってくる。

動画を撮影するのは持ち回りでも出来るが、編集をどういった方法で誰がするのかも課題になってくる。

軌道にのるまでは特に議員間での協力が不可欠ではないだろうか。